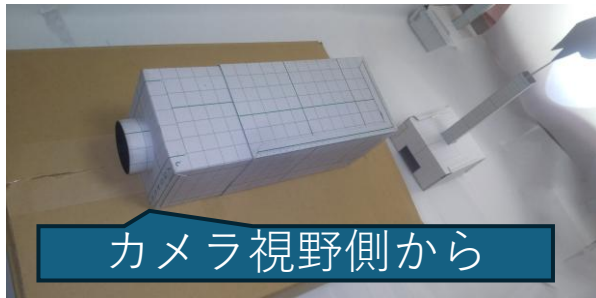


【千葉市科学フェスタ2025「ホールが1つと2つあるピンホールカメラを作ろう

(10月12日(日) 慶應技術士会)」



1. 日時、場所、副題：2025年10月12日、きぼーる(千葉市科学館)、ホールが1つ、2つ、3つあるピンホールカメラを作ります。カメラを回すと映る像が回転して楽しめます。
2. 内容 【メンバー】 午前:参加者7名+見学8名、午後:参加者9名+見学9名、計33名と盛況で、3名のインストラクターで行いました。【作成】 (1)予め切りぬいたカメラ本体ボール紙(裏黒く塗ってある。)、ホールを打ち抜いた銅板3枚(ホール1個、2個、3個)、予め切りぬいたセロハン紙スクリーンを用意します。(2)(1)で用意した材料を、セロテープで組み立てます。(3)カメラが組み立てられてくると、カメラ本体をスライドさせると、イメージが湧いてきます。(4)カメラを使った実験：ホール1個、2個、3個の銅板をスリットに交互に入れ、カメラをスライドさせると、ホール1個では、逆さまに映り、ホール2個、3個では、像が2つ、3つとなり、90°カメラを回すと重なって1つになり、更に90°回すと2つ、3つに戻ることが分かります。
3. 工作結果(千葉市科学館報告) ピンホールカメラの歴史からはじまり、カメラの仕組みをわかり易く解説していただき、参加者1人1人がしっかりと画が見えるカメラを作ることができました。比較的簡単な構造であるにもかかわらず、はっきりと結像して見える様子は頑張った努力の分と合わせて感動するものでした。参加者の皆様も、自分で組み立てたもので像を見ることができて、とても楽しんでいるように感じました。大成功でした。



カメラ視野側から



カメラピンホール側から



会場想定レイアウト

